

令和 3 年 度

事 業 報 告

社会福祉法人 福島福祉施設協会

I 事業報告

1. 福祉施設経営

福島市の総合福祉施設経営団体として、合理的かつ能率的な施設経営を行うとともに、地域住民や利用者の要望に対処するように努めた。地域社会と密接な連携を保ち、施設機能の活用を図りながら地域福祉の向上に努めた。

2. 法人運営

- (1) 社会福祉法人としての重要な役割を果たすべく、経営組織をもって事業運営に関する透明性の向上ができるよう諸規程の整備を行った。
- (2) 利用者の立場にたち、多様化するニーズに的確に対応出来るように満足度調査を実施し、自主的改善に努めた。
- (3) よりよい福祉サービス提供のため、職員が心身ともに元気に働ける職場を目指した健康づくりや職員処遇改善全般の向上に努めた。

3. 重要な取り組み

- (1) 法人経営の安定的な継続や地域社会の説明責任を果たし信頼を高めるため、中長期計画検討会メンバーを中心に中長期計画を策定した。
- (2) 会計監査導入に向けた取り組みとして、固定資産物品の管理台帳やリース台帳の整備に努めた。
- (3) 多様な人材の雇用として、関係機関と連携し障がい者の継続的な雇用と採用に努めた。
- (4) 避難先確保のため避難場所提供の覚書を基に安全対策を講じた。
- (5) 職員の人材確保と定着に努めるとともに、各種研修を通じ社会福祉理念、技術の習得向上など法人全体の福祉サービス向上に努めた。

- ・全体研修 メンタルヘルス研修

- 正規職員主任部門（1回）

- 正規職員若年層部門（1回）

- 無期雇用、臨時雇用部門（新型コロナウイルス感染症の影響により延期）

- ・管理職研修「管理者としての『伝える力』の向上」（3回）

- ・新規採用職員研修（年4回）

- ・ハラスメント防止研修（正規職員 副主任・次世代リーダー）（1回）

- (6) 新型コロナウイルス感染症に係る休暇要綱を制定し、職員が安心して働ける職場環境の整備に努めた。
- (7) 福島恵風園拠点における新型コロナウイルス等感染症に係る事業継続計画（BCP）を策定し、継続的なサービスの提供ができる体制を整えた。
- (8) 健康診断後の二次健診を徹底するとともに、ストレスチェックを実施し、職員の心身の健康づくりに努めた。
- (9) 計画的な年次有給休暇の取得を促進し、周知徹底や実績調査の実施により確実な年次有給休暇取得に努めた。

4. 評議員会・理事会・監事会の開催

(1) 評議員会

定時 令和3年6月24日（木）

報告事項

報告第 1 号 令和 2 年度事業報告

協議事項

議案第 1 号 令和 2 年度各会計決算承認の件
議案第 2 号 令和 3 年度各会計資金収支補正予算
議案第 3 号 理事選任の件
議案第 4 号 監事選任の件

(2) 理事会

第 1 回 令和 3 年 6 月 8 日 (火)

議案第 1 号 令和 2 年度事業報告承認の件
議案第 2 号 令和 2 年度各会計決算承認の件
議案第 3 号 令和 3 年度各会計資金収支補正予算
議案第 4 号 介護職員等の処遇改善に係る手当の支給に関する規程の一部変更の件
議案第 5 号 定時評議員会招集事項決定の件
議案第 6 号 評議員選任・解任委員会招集事項決定の件
議案第 7 号 評議員選任・解任委員選任の件
議案第 8 号 福祉サービス苦情解決第三者委員選任の件

第 2 回 令和 3 年 6 月 16 日 (水) (書面)

議案第 9 号 施設長選任の件

第 3 回 令和 3 年 6 月 24 日 (木)

議案第 10 号 会長選任の件
議案第 11 号 副会長選任の件
議案第 12 号 常務理事選任の件

第 4 回 令和 3 年 10 月 18 日 (月)

議案第 13 号 保育所職員に対する処遇改善に係る手当の支給に関する規程の一部変更の件
議案第 14 号 保育所職員に対する一時金支給に関する規程の一部変更の件
報告第 1 号 職務の執行状況について

第 5 回 令和 4 年 1 月 14 日 (金)

議案第 15 号 介護職員等の処遇改善に係る手当の支給に関する規程の一部変更の件
議案第 16 号 保育所職員に対する福島市新型コロナウイルス感染症対策支援事業に係る手当の支給に関する規程制定の件
議案第 17 号 令和 3 年度各会計資金収支補正予算 (第 2 回)

第 6 回 令和 4 年 3 月 16 日 (水)

議案第 18 号 就業規則の一部変更の件
議案第 19 号 職員服務規程の一部変更の件
議案第 20 号 無期雇用転換職員の雇用等に関する規程の一部変更
議案第 21 号 臨時雇用職員の雇用等に関する規程の一部変更の件
議案第 22 号 保育所管理規程の一部変更の件
議案第 23 号 介護職員等の処遇改善に係る手当の支給に関する規程の一部変更

	更の件
議案第 24 号	保育所職員に対する処遇改善に係る手当の支給に関する規程の一部変更の件
議案第 25 号	介護職員処遇改善支援補助金に係る手当の支給に関する規程制定の件
議案第 26 号	福島市保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例補助金に係る手当の支給に関する規程制定の件
議案第 27 号	令和 3 年度各会計資金収支補正予算（第 3 回）
議案第 28 号	令和 4 年度事業計画策定の件
議案第 29 号	令和 4 年度各会計資金収支予算
議案第 30 号	施設長等選任の件

監事会

令和 3 年度 業務執行、財務状況監査
令和 3 年 5 月 26 日（水）27 日（木）

5. 役員等研修会への参加

令和 3 年度 社会福祉法人理事研修

主 催 社会福祉法人福島県社会福祉協議会
期 日 令和 3 年 10 月 26 日（火）
場 所 福島県農業総合センター
出 席 者 渡邊 由美

令和 3 年度 社会福祉法人評議員研修

主 催 社会福祉法人福島県社会福祉協議会
期 日 令和 3 年 8 月 3 日（火）
場 所 福島県農業総合センター
出 席 者 渡邊 このみ、穴戸 史江

令和 3 年度 福島県社会福祉法人経営協・全国経営者協議会共催セミナー（WEB）

主 催 社会福祉法人福島県社会福祉協議会・経営者協議会
期 日 令和 3 年 12 月 6 日（月）
場 所 オンライン研修
出 席 者 渡辺 千賀良

令和 3 年度 福島県社会福祉法人経営協・全国経営者協議会共催セミナー（SHUGO）

主 催 社会福祉法人福島県社会福祉協議会・経営者協議会
期 日 令和 4 年 1 月 12 日（水）
場 所 オンライン研修
出 席 者 渡辺 千賀良

6. 職員研修の実施

令和 3 年度 新規採用職員研修会

期 日 令和 3 年 5 月から 11 月（全 4 回）
場 所 オンライン研修
内 容 ①社会人としての基礎理解・基本的姿勢を学ぶ

②職場内人材育成に関する重要性和基礎知識を学ぶ

参加人数 ①新規採用職員 2 名 ②職員転換制度採用職員 2 名

令和 3 年度 管理職研修会

期 日 令和 3 年 6 月 30 日（水）、令和 3 年 10 月 29 日（金）
令和 3 年 11 月 24 日（水）

場 所 協会会議室

内 容 管理者としての「伝える力」の向上

参加人数 10 名

令和 3 年度 全体研修（主任）

期 日 令和 3 年 9 月 28 日（火）

場 所 オンライン研修

内 容 メンタルヘルスセルフケア研修

参加人数 13 名

令和 3 年度 全体研修（若年層職員）

期 日 ①令和 3 年 12 月 8 日（水）

②令和 3 年 12 月 22 日（水）

場 所 オンライン研修

内 容 メンタルヘルスセルフケア研修

参加人数 ①14 名 ②13 名 合計 27 名

令和 3 年度 ハラスメント防止研修（副主任・次世代リーダー）

期 日 令和 3 年 9 月 7 日（火）

場 所 オンライン研修

内 容 パワハラを含むハラスメントの正しい理解と意識・行動を学ぶ

参加人数 22 名

7. 苦情受付

(1) 令和 3 年度苦情受付件数

施設分類	件数	内容
高齢者施設	13 件	対応7、環境1、その他5
保育所	8 件	保育サービス5、環境2、その他1
児童センター	6 件	対応5、環境1
合計	27 件	

(2) 苦情内容

高齢者施設	苦情申出人	地域住民
	苦情内容	老人センター利用者 に関する地域からの苦情 ・老人センター利用者が隣家の前で喫煙・飲食をしているので 早急に 対応してほしい。 ・隣家の家主が直接注意することもあるが口論となる。
	処理内容	老人センターでは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者には館内での飲食を控えるようお願いをしているところである。また、館内は終日禁煙となっている。 今回の苦情に対して、対象となっている利用者と話し合い次のとおりとなる。 ・飲食については、園庭若しくは公園のベンチでとってもらう ・喫煙については火事の不安もあるため控えてもらう

保 育 所	苦情申出人	地域住民
	苦情内容	保護者の送迎時等の駐車場の利用に関する地域からの苦情 ・保育所以外の駐車場には停めないでほしい ・直接注意をしているが、何度も繰り返している
	処理内容	保護者には近隣からの苦情について周知し、再度保育所以外の駐車場には停めないように依頼する。 また、保育所としても降雪時などでも利用可能な駐車場が分かりやすくなるような工夫を行うこととした。

児 童 セ ン タ ー	苦情申出人	地域住民
	苦情内容	環境整備に関する地域からの苦情 ・児童センター前の歩道が降雪により長期間凍結し危険である ・残雪や路面の氷を溶かして安全に通行できるようにしてほしい
	処理内容	融雪剤を購入し対応するも、厚い氷は溶けないため所管支所に相談し協力を得る。 蓬萊支所からも融雪剤をいただき対応する。また、厚い氷については、地域の方や所管支所の職員の協力を得ながら粉砕し片付け、歩道の安全を確保した

8. 地域における公益的な取組

(1) 情報の発信

① 健康に関する情報の発信、介護相談窓口

発 信 方 法 : 地域の方が多く集まる地区の文化祭において情報のパンフレットを配布

内 容 : 情報発信と同時に、介護に関する悩み・困りごとの相談窓口を開設し連絡先と担当者名をパンフレットの中に記載

取 組 施 設 : 福島恵風園デイサービスセンター
めぐみの風居宅介護支援センター
ホームヘルパーステーションめぐみ

② 子育て情報の発信「おかあさん だいじょうぶ！」

発 信 方 法 : 当協会ホームページの専用ページに掲載

内 容 : 子育てに悩んでいる保護者を対象に専門職である保育士・栄養士から子育てや食育に関する情報を毎月1回発信

○子育て情報

テーマ「保育所のひとコマから見える子育てのヒント」

○食 育 情 報

毎月の季節に合った食の情報、保育所のレシピ紹介

取 組 施 設 : 福島隣保館保育所、福島保育所、瀬上保育所

福島わかば保育園、福島ふたば保育園、飯坂保育所

Ⅱ 実績報告書

養護老人ホーム 福島恵風園

1. 運営管理

- (1) 入所者が限られた環境の中で快適な生活を送れるよう工夫した。
- (2) 介護の必要な入所者は介護保険サービスを利用し、機能の維持を図った。
- (3) 被虐待高齢者、また一人暮らしによる生活苦の高齢者、身元引受人のいない高齢者を積極的に受け入れた。
- (4) 100名の定員を充足するため、生活支援を必要としている高齢者を入所につなげるよう福島市、近隣市町村、地域包括支援センターに働きかけた。
- (5) 養護老人ホームの入所の実態が入所基準と大差があるため、行政へ現状の報告と実状に合った職員配置を要望した。
- (6) 全国老人福祉施設協議会の一斉要望活動に合わせて緑光園と共に養護老人ホーム処遇改善に関する要望書を福島市に提出した。
- (7) 福島市あらかわクリーンセンターからの給湯の活用をした。
- (8) 避難訓練を実施（火災・水害・地震等）した。
- (9) 福島恵風園拠点における新型コロナウイルス等感染症に係る事業継続計画（BCP）を策定し、継続的なサービスの提供ができる体制を整えた。
- (10) 法人内の介護保険事業所と事業内容の相互理解を深めるため、高齢者施設会議を開催した。

2. 職員体制

- (1) 職員間の共通課題意識向上のため、各種研修会（オンライン・対面）に参加した。
- (2) 夜間業務は夜間専門員及び慈恵会との委託契約で対応した。
- (3) 給食業務を日清医療食品株式会社に継続委託した。

3. 施設整備

- (1) 園内正門付近舗装修繕工事
- (2) 職員玄関改修工事
- (3) 正面玄関エントランスカメラ設置
- (4) 玄関壁面用アルミ掲示板取付工事
- (5) 中庭整備

4. 健康管理

- (1) 定期健康診断、結核検診、インフルエンザ予防接種・新型コロナウイルスワクチン接種（3回）等を実施した。
- (2) インフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルス感染症予防のための啓蒙、各所の消毒、加湿、検温など予防に努めた。
 - ・インフルエンザが発症した場合の予防薬投与について承諾を得た。
 - ・インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症流行対策のため、面会外出制限やオンライン面会を行った。
 - ・新型コロナウイルス感染対策マニュアルの改訂をした。
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策として、正面玄関・職員玄関での検温消毒体制の整備、職員の1日2回の検温、消毒環境の充実に努めた。

- (4) 熱中症予防のための啓蒙・水分補給を行った。
- (5) 食中毒防止のための啓蒙に努めた。
5. ニーズへの対応
 - (1) 新型コロナウイルス感染症対策により外出できなかったため、代替として園内でできる行事を実施した。(お花見や収穫祭など)
 - (2) 園の畑で収穫した野菜を使用してのおやつを提供した。
 - (3) 月2回の食料品の訪問販売を実施した。
 - (4) 年2回の衣料品の訪問販売を実施した。
 - (5) 自分での洗濯が困難となった入所者へ、希望によりクリーニング業者を利用できるように対応した。
 - (6) 室内への冷蔵庫設置を希望する利用者への対応を行った。
6. 地域交流活動
 - (1) 新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は自粛した。
7. 利用状況

定員		100 人		
入 所	人数(3月31日現在)	96 人		
		通常入所		
		男	女	計
		28	68	96
		被災者受入		
		男	女	計
		0	0	0
		0		
退 所	人数(令和3年度)	14 人		
	理 由	男	女	計
	長期入院	0	0	0
	死亡	3	7	10
	老人保健施設への転所	0	0	0
	他施設への転所	1	2	3
	自宅へもどる	0	1	1
	その他	0	0	0

地域密着型通所介護、介護予防・日常生活支援総合事業 福島恵風園デイサービスセンター

1. 運営管理
 - (1) 利用者の生活の質の向上のため、担当者会議等に参加し、家族や各居宅介護支援事業所等と連携を図った。(新型コロナウイルス感染症予防のため、書面での参加を基本とした)
 - (2) 外部利用者の送迎を安全安心な体制で実施した。
 - (3) 入浴介助については、介護職員の確保をし、充実した介助を実施した。
 - (4) 各種行事については、季節に応じたレクリエーション等を実施した。
 - (5) 食事については、栄養士と連携し個々人のニーズに沿った提供を実施した。
 - (6) レクリエーション・機能訓練等、楽しみながら心身活性化の実施をした。
 - (7) 年2回運営推進会議を開催し、地域との交流・連携を図った。(新型コロナウイルス感染症予防のため書面開催)
 - (8) 事業所内外の研修に参加し、専門職としての質の向上を図った。(新型コロナウイルス感染症予防のためオンライン研修)

2. 衛生管理

- (1) 福島恵風園拠点における新型コロナウイルス等感染症に係る事業継続計画（BCP）を策定し、継続的なサービスの提供ができる体制を整えた。
- (2) 空気清浄器の整備を行い、施設内の消毒を1日2回実施し感染予防に努めた。
- (3) 浴槽のレジオネラ菌の検査を年1回実施した。
- (4) インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症の対策として、マスクの配布・手指消毒を実施し発生予防に努めた。
- (5) 職員が感染の媒体にならないよう消毒を徹底した。
- (6) パート職員への健康診断（労働安全衛生規則健診Ⅱ）を実施し、健康管理に努めた。

3. 施設整備

- (1) 災害時の備蓄品を整えた。
- (2) 生産性を向上し職場環境の改善を図ると共に、令和3年度福島県地域医療介護総合確保基金事業補助金の交付を受け、記録業務や情報共有業務、請求業務を連携して行うICTを導入し、職場環境や業務の効率化を図った。

4. 地域交流活動

- (1) 第26回吉井田地区文化祭に利用者の作品を出展すると共に、事業所のパンフレットを配布した。

5. 利用状況

年間延べ利用者数		2,178 人
1日平均利用者数		9.1 人
稼働日数		241 日
登録者	人数(3月31日現在)	36 人
	事業対象者	1 人
	支援1・2	4 人
	介護1	9 人
	介護2	5 人
	介護3	10 人
	介護4	4 人
	介護5	3 人

指定居宅介護支援事業

めぐみの風居宅介護支援センター

1. 活動状況及び事業内容

- (1) 利用者のニーズへの的確な対応及び生活の質の向上を目指し、関係諸機関との連携を図り、総合的かつ効率的な視点に基づくサービス提供を実施した。
- (2) 福島恵風園、福島恵風園デイサービスセンター、ホームヘルプステーションめぐみと情報交換や意見集約を行いながら、園内利用者のニーズに即応した円滑な介護サービスの提供が行えるよう連携を図った。
- (3) 指定介護予防支援業務の委託を地域包括支援センターより受け、介護予防、総合事業のケアマネジメントを行った。
- (4) 要介護認定調査の委託を受け、要介護認定調査を行った。

- (5) オンライン等の各種研修会に参加し自己研鑽に努め、質の高いケアプランの作成や相談援助につなげた。
- (6) 地域包括ケアシステム構築に向け、地域ケア研修会や地域の諸団体との連携を図った。また、地域における主任介護支援専門員の役割として、研修の講師補助の協力を行った。
- (7) 利用者、家族の緊急時に対応するために、常時（24 時間）担当者と連絡可能な体制を整え、営業時間以外にも対応を行った。
- (8) 業務遂行にあたり感染予防対策をマニュアルに沿って行うとともに、体調管理に努め、疾病に関しての情報提供を行った。
- (9) 福島恵風園拠点における新型コロナウイルス等感染症に係る事業継続計画（BCP）を策定し、継続的なサービスの提供ができる体制を整えた。

2. 利用状況

居宅サービス計画作成実件数(月平均)	78.7 件
予防委託実件数(月平均)	5.6 件
給付管理年間総数	945 件
認定調査年間実施総数	59 件
在宅訪問年間総数	1,418 件

指定訪問介護、介護予防・日常生活支援総合事業 ホームヘルプステーションめぐみ

1. 運営管理

- (1) 地域の利用者や福島恵風園の利用者を中心にホームヘルプサービスを提供した。個人の有する能力に応じた日常生活を営むことができるように入浴介助や排泄介助・食事介助など生活全般にわたる介護を提供した。
- (2) めぐみの風居宅介護支援センターや地域包括支援センター・福島恵風園との連携を密にしながら利用者のニーズに十分配慮し、経営基盤の安定に努めた。
- (3) 新型コロナウイルス感染予防策をとりながらのサービス担当者会議への出席により、保健医療サービス、福祉サービス提供事業者との密な連携を図った。
- (4) 利用者のニーズに対応するため、勤務時間帯を必要に応じて変更し、充実したサービス提供に努めた。

2. 事業内容

- (1) 要介護者に対して訪問介護を提供した。
- (2) 福島恵風園の利用者が新型コロナウイルスの感染拡大防止策によりデイサービスへの通所を中止している期間において、居宅介護支援事業所の調整連携により利用者の保清のため、入浴や排泄介助などの身体介護のサービス提供を可能な限り行うなど、臨機応変に対応した。
- (3) 定期的な事業所内研修を充実させ、外部研修は新型コロナウイルス感染拡大の状況を見極めて感染の予防に努めながら参加し、オンライン研修なども取り組みながら、職員の資質の向上と専門性の研鑽に努めた。
- (4) 生産性を向上し職場環境の改善を図ると共に、令和3年度福島県地域医療介護総

合確保基金事業補助金の交付を受け、記録業務や情報共有業務、請求業務を連携して行うICTを導入し、職場環境や業務の効率化を図った。

3. 安全衛生管理

- (1) 福島恵風園拠点における新型コロナウイルス等感染症に係る事業継続計画（BCP）を策定し、継続的なサービスの提供ができる体制を整えた。
- (2) マスク及びフェイスシールド等のウイルス対策用品を使用し、換気や消毒を徹底して新型コロナウイルス及びインフルエンザ等の感染対策に努めた。
- (3) 1日2回の検温及び健康チェックを実施し、職員の健康管理を行った。また、少しでも体調不良を感じた時には早めに医療機関を受診し、感染の心配がなくなってから出勤するなど万全の感染予防に努めた。
- (4) 万が一感染者が発生した場合に媒体とにならないよう消毒を徹底し、感染拡大予防に努めた。
- (5) 腰痛予防や転倒予防についての研修を重ね、スライドボード・スライドシートの使用や支援員の協力を得て二人体制で移乗介助するなど、安全に業務を遂行するよう努めた。
- (6) パート職員への健康診断（労働安全衛生規則検診Ⅱ）を実施し健康管理に努めた。

4. 利用状況

年間延べ利用者数	11,243 人
1日平均利用者数	37.6 人
年間累計利用回数	19,331 回
稼働日数	365 日
人数（令和3年3月31日現在）	42 人

登 録 者		
介 護 内 訳	要支援1・2	0 人
	要介護1	11 人
	要介護2	4 人
	要介護3	13 人
	要介護4	10 人
	要介護5	4 人

老人福祉センター（福島市指定管理施設） 福島市わたりふれあいセンター

1. 運営管理

高齢者が健康で明るく楽しい日々を過ごすために、健康増進器具や囲碁・将棋及び図書、そして入浴並びに休憩等の施設を活用して憩いの場を提供した。

また、健康相談や子どもたちとのふれあいなどを通して、高齢者の心豊かで生きがいのある暮らしに寄与した。

2. 運営方針

- (1) 利用者の安全確保に努めるとともに、生活相談等の事業を実施することにより事業の目的達成に努めた。
- (2) 地域の各種機関・団体との連携を図り、施設を地域コミュニティ活動の場として開放し、サービスの提供に努めた。

(3) 利用者が活動しやすい雰囲気づくりに努めた。

3. 事業内容

(1) 新型コロナウイルス感染症対策を実施した。

(2) 高齢者の生活相談、健康相談、健康指導を行うとともに、ホールを開放し利用の促進を図った。

(3) ふれあい交流事業として世代間交流事業に参加した。

4. 利用状況

利用者数	個人	9:00～18:00	14,301 人
		上記のうち入浴者	12,974 人
	団体	9:00～18:00	7 件
		上記の人数	122 人

生きがい型デイサービス・外出支援事業（福島市受託事業） 福島市渡利デイサービスセンター

1. 運営管理

在宅で生活する介護保険対象外の比較的元気な高齢者及び家に閉じこもりがちな一人暮らしの高齢者に対し、通所により各種のサービスを提供することによって、生きがいと社会参加を促進するとともに、社会的孤立感の解消及び自立生活の助成に努めた。

2. 運営方針

(1) 市の委託事業として、利用者の確保と各種行事の実施により、円滑かつ安定した事業の促進を図り、事業目的の達成に努めた。

(2) 高齢者と子どもたちとの交流や、高齢者の生きがいと社会参加の促進に努めた。

(3) 事業目的の達成のため、安全で安心して利用できるセンターとして、専門性を広く公開し、地域福祉の向上に努めた。

3. 事業内容

(1) 新型コロナウイルス感染症対策を実施した。

(2) 健康相談、送迎、入浴サービス、給食サービス（福島市契約書による）、レクリエーション、ふれあい交流事業を行った。

(3) 生きがい活動として、趣味活動、日常動作訓練、遠足等を実施した。

4. 利用状況

年間延べ利用者数	1,178 人
1日平均利用者数	4.9 人
稼働日数	239 日
登録者数(3月31日現在)	45 人

保 育 所

福島隣保館保育所、福島保育所、瀬上保育所 福島わかば保育園、福島ふたば保育園、飯坂保育所

1. 運営管理

- (1) 保護者が安心して預けられるよう質の高い保育に努めるとともに、子どもの生命保持と健やかな生活の基本となる健康安全の確保に当たった。
- (2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度も外部者の受入れは実習生と一時預かりに限定し、入所希望者の施設見学は、制限をしながら対応した。
また、福島保育所では、幼稚園送迎ステーションの運営を委託されており、地域の待機児童対策に加え、幼稚園利用保護者の送迎負担を軽減する役割も担った。
- (3) 副食費定額徴収と主食の提供を行い、安定した給食を提供することができた。
また、紙おむつの処分を保育所で行うことで、保護者の負担軽減と衛生面への配慮ができた。
- (4) 保育サービス向上のため、毎年一施設ずつ受審している福祉サービス第三者評価は、本年度福島わかば保育園が受審予定であったが新型コロナウイルス感染症流行の影響で延期となった。(令和4年度に受審予定)
- (5) 感染症対策に配慮しながら養成校(保育士・看護師)からの実習生を受け入れ、人材育成に努めた。
- (6) コロナ禍で保育や子どもの様子を保護者に伝える(見てもらう)ことが難しくなっている中、定期的にホームページを活用し保育所(園)や子どもの様子を発信した。
- (7) 3月16日に発生した福島県沖地震の際には、子どもの安全を最優先に対応し、施設の被害状況の把握に努めた。なお、被害のあった飯坂保育所、瀬上保育所については、翌年度計画的に修繕を行う。
- (8) 地域における公益的な取組として、ホームページを活用し子育て情報「お母さんだいじょうぶ」の発信を継続的に行い、地域の子育て支援の充実を図った。

2. 保育状況

- (1) 保育理念のもと、保育課程に基づき発達段階に応じた保育に努めた。
- (2) 適切な環境を整え、一人ひとりの子どもを受容し、情緒の安定を図り、養護と教育の一体的な提供に努めた。
- (3) 保護者との共有理解のもと、家庭保育と集団保育との相互関係を大切にしながら保育を進めた。
- (4) 食育活動として、感染症対策をしながら季節の食材に触れることやクッキング活動等を通して、望ましい食生活について周知し、健全な心と体を育てた。
- (5) 子どもの心身の発達を阻害する事象を見逃さないように努めた。
- (6) 小学校へのアプローチプログラムの一環として、就学児の合同運動会を予定していたが、新型コロナウイルス感染対策のため、中止した。

3. 食育状況

- (1) 食育年間計画、食育目標、食育方針を作成し、季節、年齢、発達段階に応じた食

事の提供を行った。

- (2) 食の嗜好を常に把握しながら食事を提供し、保護者との連携を密に乳幼児の食生活の指導を行った。また、食材についても、地産地消を中心に新鮮かつ旬の食材を提供した。
- (3) 食育の促進について、保育士と栄養士との話し合いを深め全職員で取り組んだ。
- (4) 医師の診断を基に、アレルギー除去食を実施した。
- (5) 食中毒防止に留意するとともに、保護者に安全を周知するように努めた。
- (6) 食べ物による窒息事故を防ぐために、マニュアルに基づき調理方法を工夫し安全に提供した。

4. 健康管理

- (1) 嘱託医による乳児健診（毎月）、内科健診（年 2 回）、歯科検診（年 1 回）を実施した。
- (2) 身体測定（毎月）を実施して、成長発達状況の把握に努めた。
- (3) 専門機関による 3 歳児以上の尿検査を実施した。（年 1 回）
- (4) 新型コロナウイルス感染症においては、福島市「新型コロナウイルス感染症対策ガイド」や施設協会保育所対応マニュアルに基づき、検温、手指消毒、年齢に応じたマスクの着用などの感染対策を徹底し、感染症の予防と健康管理に努めた。
- (5) 異常気象により熱中症予防に努めた。

5. 安全管理

- (1) 危機管理マニュアルに基づき、建物、器具、遊具等の点検を行い、安全管理に努めた。
- (2) 避難訓練・消火訓練は毎月行い、総合訓練は新型コロナウイルス感染拡大防止のため縮小して行った。
- (3) 児童にわかりやすい防災・防犯の指導に努めた。
- (4) 交通安全指導の上で絵本や紙芝居を用いた実地指導を実施した。
- (5) 保育所の個人情報の取扱いにおいては、関係者の同意を得ながら慎重に行った。
- (6) 全施設見守りセンサーを導入し、0 歳児のみマット型センサーでの確認と全年齢目視での確認を行い、乳幼児の睡眠の安全管理に努めた。

6. 施設職員の資質向上

- (1) 施設外研修に参加した
 - ①各部会研修・研究会（施設長、主任保育士、保育士、給食担当者）へ参加
 - ②オンライン研修の参加（社会福祉協議会、福島市、キャリアアップ等）
- (2) 施設協会内研修を実施した
 - ①年間テーマに基づいた年齢別研修の実施
- (3) 施設内研修を実施した
 - ①保育課程に基づき保育計画・行事等の検討及び反省
 - ②園外研修参加者による報告
 - ③施設ごとにテーマを設定した自主研修

7. 利用状況

施設名		福島隣保館 保育所	福島 保育所	瀬上 保育所	福島わかば 保育園	福島ふたば 保育園	飯坂 保育所	合計
定員		120	120	80	60	90	90	560
3月31日現在	年齢別在籍人数							
	0歳	17	12	12	10	12	13	76
	1～2歳	36	35	26	21	33	32	183
	3歳	26	29	15	13	18	18	119
	4歳以上	49	49	34	20	36	37	225
	計	128	125	87	64	99	100	603
	充足率	106.7%	104.2%	108.8%	106.7%	110.0%	111.2%	107.7%
年間延べ	定員	1,440	1,440	960	720	1,080	1,080	6,720
	措置人数	1,482	1,469	999	749	1,157	1,139	6,995
	充足率	103.0%	102.1%	104.1%	104.1%	107.2%	105.5%	104.1%
	年齢別在籍人数							
	0歳	157	113	108	102	113	119	712
	1～2歳	442	420	303	252	396	365	2,178
	3歳	300	348	180	155	216	211	1,410
	4歳以上	583	588	408	240	432	444	2,695
	計	1,482	1,469	999	749	1,157	1,139	6,995

地域子育て支援拠点事業（福島市受託事業）

わかば子育てセンター、せのうえ子育て支援センター（5日型）

いいざか子育て支援センター（6日型）

1. 運営管理

子育てを取り巻く環境は、核家族化、少子化とともに家庭機能の変化、地域社会のつながりの希薄化が深刻になってきた。子育て中の親たちやこれから子どもを産もうとしている親たちが抱く不安や悩み、孤独感を共有し、寄り添う支援を意識して事業を行った。

また、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を行いながら、センターが地域における子育て支援の中心的役割が果たせるよう、関係する各種事業を推進するとともに、事業が円滑に進むよう関係機関、施設との連携を図った。

2. 事業内容

（1）子育て親子の交流の場の提供及び交流の促進

①利用組数を制限したことで、一人ひとりの親子の様子が見え、年齢に合わせた環境作りをするなど細やかな対応ができたことで、子どもたちが安心して遊ぶ姿が見られた。

②登録利用親子数が減ったことで親子同士が親しくなり、連絡先を交換し合ったりセンター外で遊んだり相互に交流する機会も増えた。

③わかば子育てセンターとせのうえ子育てセンターでは、午後も利用できる5時間開設を行った。

④いいざか子育てセンターにおいては、引き続き土曜日の開催を実施した。

（2）子育てに関する相談、援助の実施

①ほとんどがひろば利用時に受けるものであった。内容は、幼稚園や保育園入園や子育てのことが主で、内容によっては他の保護者にも繋ぎ、保護者同士でアドバ

イスし合えるよう配慮した。

- ②子どもの就学により利用が終了した保護者からの子育てに関する悩みやコロナ禍での不安などの相談についても対応した。

(3) 地域の子育て関連情報の提供

- ①毎月のセンターだよりの発行やホームページの更新、福島市の子育てアプリ「母子モ」の運用など子育て支援に関する情報の発信に努めた。
- ②関連パンフレットを常備、配布し情報の提供を行った。

(4) 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

- ①コロナ禍により講習会等の企画の延期や中止が多かった。
- ②感染予防のため少人数での開催に努めた。

(5) 関係機関との連携・事業協力

- ①オンラインでの研修や会議に参加することにより職員の資質の向上を図った。
- ②福島市学習センターの家庭教育学級との連携を図り情報を共有した。

3. 利用状況

(1) 年間利用状況

事業別利用者数	施設名	わかば子育てセンター			
	事業項目	開催回数 (回)	利用数		
			子ども(人)	大人(人)	合計(人)
	子育て広場	148	389	423	812
	親子教室	27	150	162	312
	赤ちゃん広場「ピヨピヨ広場」	43	155	156	311
	わかば「子育て広場」	12	71	85	156
	センター開放	242	14	19	33
	合 計	472	779	845	1,624
	施設名	せのうえ子育て支援センター			
	事業項目	開催回数 (回)	利用数		
			子ども(人)	大人(人)	合計(人)
	子育て広場「いちようひろば」	172	515	671	1,186
	親子教室「のびのびくらぶ」	33	158	182	340
	赤ちゃん広場「あかちゃんこんにちわ」	31	118	118	236
	センター開放	242	12	14	26
	合 計	478	803	985	1,788
	施設名	い い ざ か 子育て支援センター			
	事業項目	開催回数 (回)	利用数		
			子ども(人)	大人(人)	合計(人)
	子育て広場「こぶし広場」	166	426	571	997
	親子教室	27	115	145	260
	赤ちゃん広場	37	86	88	174
	センター開放	292	106	108	214
	合 計	522	733	912	1,645

(2) 子育て等に関する相談件数

施設名	相談方法内訳			合計
	電話	来所	訪問	
わかば子育てセンター	20	48	3	71
せのうえ子育て支援センター	4	73	0	77
い い ざ か 子育て支援センター	5	75	0	80
合計	29	196	3	228

児童厚生施設

設置運営施設

福島市東浜児童センター 福島市野田児童センター

福島市指定管理施設

福島市蓬莱児童センター 福島市清水児童センター

福島市渡利児童センター

1. 運営管理

新型コロナウイルス感染症への対策を重視した管理運営に努めた。地域の児童健全育成の活動拠点として、地域における遊びの援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し、情緒を豊かにすることに努めた。

2. 活動状況

- (1) 子どもの心身の健康が心配される中、知的、社会的能力が衰えないよう情緒が豊かになるよう援助を行った。
- (2) 三密を避けるなど活動に制限が加えられる中、自主性の尊重に努めた。同年齢や異年齢の集団形成については小グループにしてその実行に努めた。
- (3) 子どもの自己効力感や自己肯定感を育てるため、戸外での活動を増やすとともに、学年ごとに分けるなどの創意工夫をした環境作りに努めた。
- (4) 子どもが自発的に活動することが困難な中、思いを受け止め寄り添い、意見を尊重するよう努めた。
- (5) 問題を抱えている子どもが増加傾向にあったが、関係機関と連携を密にして対応に努めた。
- (6) 児童が学校に行っている時間を利用し、幼児クラブなど子どもと保護者が自由に交流できる場を提供し、子育て支援に努めた。
- (7) 地域の育成活動内容を広報し、健全育成を進める環境作りに努めた。
- (8) 事業の中止などにより、学生ボランティアや地域のボランティアの受け入れが困難であった。
- (9) 自由来館が新型コロナウイルスの感染拡大により休止になることが多かったため登録児童と自由来館児童の交流は少なくなったが、利用できた期間は少しでも交流ができるよう少人数に分けるなど工夫に努めた。
- (10) 子どもの安全・衛生管理や防災・防犯対策などに努めた。
- (11) 研修の機会が減り、継続的な研修の実施が困難であった。
- (12) 最重要課題である新型コロナウイルス感染症対策については、マニュアルに基づき感染予防に努めた。

3. 利用状況

施設名		東浜 児童センター	野田 児童センター	蓬莱 児童センター	清水 児童センター	渡利 児童センター	合計
利用者 数	幼児	354	270	336	10	781	1,751
	1～3年	3,565	7,331	4,840	11,499	8,556	35,791
	4～6年	282	277	317	677	330	1,883
	中高生	145	385	131	60	421	1,142
	大人	309	338	438	5	977	2,067
	計	4,655	8,601	6,062	12,251	11,065	42,634
	上記のうち登録児童	2,995	7,054	4,170	11,078	7,958	33,255
1日平均利用者		15.9	29.4	20.7	42.3	37.9	146.2
開館日数(日)		293	293	293	290	292	